

未来創造志塾 6期第6回 (H19.8.13)

「小栗上野介忠順」に学ぶ
明治維新の未来を創った天才戦略家

6期テーマ 東洋思想・哲学を学び、トップ・幹部に必須な人間学を身に付ける！

賢者は歴史に学び、愚者は体験に学ぶ、先賢に学んで自分を練る」

講義主題：一、東洋思想を学び、価値観を高め、人間力の向上を目指す。

二、経営の原理原則を学び、戦略の仕掛けと仕組みを学ぶ。

三、お互いに価値観を語り合うことにより 志・使命を学び合う場とする。

第6期は、東洋哲学・歴史から、現代の経営に置換え学びます。

第6期予定	日程	テーマ
第1回	3月19日(月)	「山本勘助と武田信玄」に学ぶ、トップと参謀の条件
第2回	4月16日(月)	「武田家の事業継承」に学ぶ、成功例と失敗例
第3回	5月21日(月)	「真田一族(三代)」に学ぶ、中小企業経営の生残り戦略
第4回	6月18日(月)	「織田信長の破壊と創造」根底は生まれつきの帝王学
第5回	7月9日(月)	「徳川吉宗の目指した改革」人材登用の極意
第6回	8月13日(月)	「小栗忠順」明治維新の未来を創った天才戦略家
第7回	9月11日(火)	「山田方谷と河合継之助」名宰相の生き方の違い
第8回	10月16日(火)	「クラウゼビッツ戦争論」強いリーダーの条件
第9回	11月13日(火)	「クラウゼビッツ戦争論」戦略の達人になる！
第10回	12月11日(火)	「ランチェスター弱者の法則」中小企業の経営戦略の極意
第11回	1月15日(火)	「君主論」非常の論理、悪の人心掌握術
最終回	2月19日(火)	「曹操孫子注釈」戦略・戦術策定の仕組みを学ぶ！

以上で予定しておりますが、皆様の希望あれば、内容を変えます。

場所：地下鉄東陽町駅前 産業会館(第1会議室)

会費：3000円(会員以外 都度参加メンバー)

(6期会員メンバーは、2000円、録音CD送付)

宿泊研修は別途実費(1万円予定)

未来創造志塾 6期 6回 (H19年8月13日)

「小栗上野介忠順」に学ぶ
 ～～ 明治維新の未来を創った天才戦略家 ～～

明治38年(1905年)日露戦争、日本海海戦大勝利の立役者
 日本の近代化のためには何が必要か？

財政破綻の幕府の中で、造船所の建築を断行する。

「いよいよ出立の上は、旗号にのしを染め出すも、なお土蔵付きの売り家の榮譽を残すべし！」

「一本のネジが日本の近代化の礎を築く」

明治4年2月8日横須賀造船所のドック開業。(小栗死後3年)

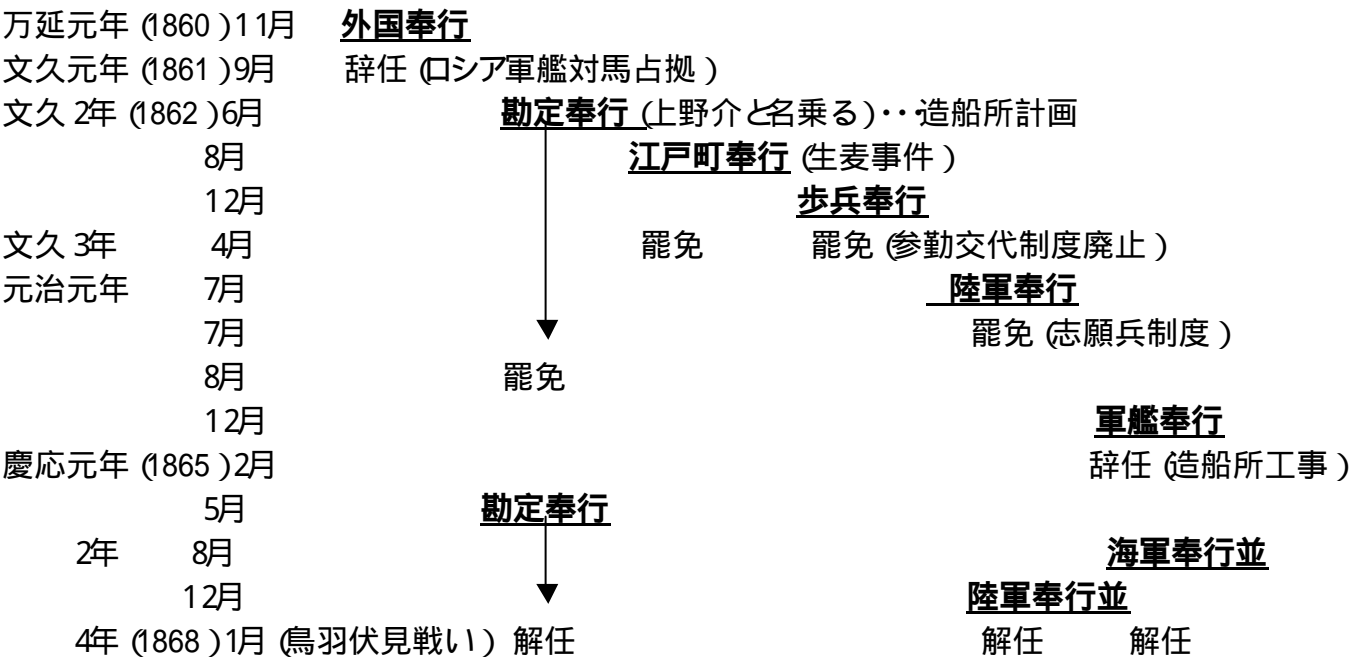
ライバル勝海舟と小栗上野介忠順

	勝海舟	小栗上野介忠順
生まれ	文政6年(1823)	文政10年(1827)
家柄	40俵 旗本株購入(祖父検校)	2500石 松平氏名門幕臣(直参旗本)
妻		播州林田藩 1万石建部匠頭藩主の娘
学問	佐久間象山蘭学・大砲設計	安積良斎漢学・直心陰流
	安政2年(1855)長崎海軍伝習所入校	
渡米使節 77名	咸臨丸 300 艦長(1860) 96名 ブルック大尉 11名、サンフランシスコまで	ポーハタン号。34才 目付け(第3位) ワシントンにて大統領と条約批准
未来像	公武連合政府	近代的統一国家(大統領制)郡県制
	江戸城無血開城	1868年上野権田村烏川畔で斬首

福沢諭吉(明治24年、? せ我慢の説)勝海舟と榎本武揚を批判

勝海舟「行蔵は我に存す、毀譽は他人の主張、我に与らず我に関せずと存し候」

小栗上野介の経歴



不退転の内政大改革

盟友 栗本鋤雲「フランス語堪能

軍艦を有する以上は、破損は有中の事なれば、これを修復するの所なかるべからず」

大海軍構想

当面は外国から購入

将来は軍艦、大砲、小銃を国産化

??? 製鉄所・造船所・ドックの建設 (横須賀)

250万ドル 軍艦・大砲・小銃などの軍事費

240万ドル 横須賀製鉄所 (慶応元年建築工事スタート)・・・4年支払い

10万ドル お雇い外国人の給与

??? 借財担保 = 生糸貿易、鉱山開発、(蝦夷地産物)

財政通・小栗の改革方針

総花式から優先権 (プライオリティ)を立てた削減と積極投資? 既得権者から反発

賄賂禁止

幕府役人お役御免、大奥女中の人員削減

運上金 (関税)の増収、貿易交易の奨励 (横浜45万ドル、全国100万ドル)

兵庫商社設立・・・ガス灯・郵便会社設立計画

小栗の発想と誤算

米海軍造船所を見学、溶鉱炉、反射炉、スチームハンマー (マザーマシン)

大海軍構想 艦艇370隻 乗組員6万人 (江戸、函館、能登、下関、長崎、大阪の6海軍基地構想)

南北戦争 (1861~65)勃発 = = = 軍艦の発注を米からオランダへ

大統領制度、兵庫商社 (株式会社)、鉄道、ガス、郵便

戊辰戦争時、横須賀造船所爆破中止、フランス艦隊に保護

起死回生の策 海軍を駿河・相模湾に配置し、砲撃し、退路を断つ」

ストーンウォール号 (甲鉄軍艦) 横浜到着するも外国が局外中立の立場

小栗の最期

解雇された時、どのような行動にでるのか?

A 幕府主戦派からの誘い

B 会津藩からの誘い

C 恭順

徳川慶喜の指導力

水戸徳川家第9代藩主 徳川斉昭 (37人子供)の第7子 (天保8年 1837 生まれ)

母は公家有栖川宮織仁親王の王女登美宮吉子。才媛の誉れ高き女性。

11歳で御三卿の一橋家を継ぎ、桜田門外の変で政治の中枢に。

根無し草の一橋家。支配下土地なし、雇われ家臣のみの不幸が優柔不断を生んだのか？

一人芝居の大政奉還 (慶応3年 10月 14日) = 選択肢? 拒否・独自案・土佐案

誰にも相談なし (小栗・勝・ロッシュなど)

江戸と京都の二元政治体制 (情報の乖離)

すべて、自分の都合で考え、判断 = = 相手の意思 動向は無視

準備不足 (陸海軍 = 武器 弾薬 兵隊) シナリオ考えてなし

百の才あれど、一片の誠なし

幕府陸軍 (フランス式)

歩兵 8300人 騎兵 1000騎 砲兵 100門 砲手 800人

錦旗と前代未聞の敵前逃亡

鳥羽 伏見の戦い = 300対 15000 藤堂藩・淀藩 (老中稲葉美濃守) 裏切り

小栗の限界

1. 根回し下手
2. 味方の中に敵をつくる (既得権者)
3. いかんせん、トップ 老中にはなれない身分階級
4. 徳川慶喜との相性の悪さ

親が重い病いにかかり もうだめだとわかっているにもかかわらず、

いま、俺がやっているのはそれだ。

君、君たらずとも臣、臣たるべし！」

国家百年の大計 「日本の近代化、明治の父」

総工費 2400 万ドル

総面積 24 万 4600平方メートル

東洋一の大小 3基のドライ・ドックと製鉄所、造船用工場 3ヶ所

ドッグの壁は石組み、最大全長 119 メートル、幅 25メートル、深さ9メートル、4000 トン級艦船製造能力

三野村利左衛門 (三井番頭、中興の祖)との友情